

農業福祉コース 介護実習 I (5単位) について

北海道留寿都高等学校

<目的>

- ・高齢者や障害者に応じた基本的な介護技術を習得する。
- ・個々の利用者に応じたコミュニケーションを図る力を身につける。
- ・多職種と連携を図り、チームで利用者をケアしていることを理解する。
- ・介護福祉士の受験資格取得のための実習

<介護実習に向けた学習内容>

1年次

- ・教科学習 → 社会福祉基礎…福祉の理念、福祉の歴史と法律の概略、福祉従事者の現状と業務
(4単位) 介護福祉基礎…高齢者・障害者の生活と支援
コミュニケーション技術…利用者や家族、職員とのコミュニケーションの方法
- ・実技指導 → 車イス介助…車イスの各部の名称、基本的な操作、段差を越える方法
視覚障害者体験、高齢者体験

2年次

☆事前学習

- ・教科学習 → 社会福祉基礎…社会保障制度の意義と役割、高齢者福祉・障害者福祉の制度
(7単位) 介護福祉基礎…高齢者・障害者の生活と支援、介護従事者の役割
介護総合演習…各種福祉施設の概要、実習に対する心構え、
実習記録の記入方法(目標設定の方法、実習中の出来事に対する
考察、翌日につながる内容の記入)
介護過程…フェイスシート作成の方法、情報収集の方法
こころとからだの理解…身じたく移動のしくみ、からだのしくみ、老年期の発達
生活支援技術…介護実技に関する講義
- ・実技指導 → 体位変換…仰臥位から側臥位、側臥位から端座位、端座位から立位
(29時間) ベッドメイキング…必要物品の確認、シーツの敷き方、三角コーナーの作り方
移乗介助…ベッド車イス間の移乗
着脱介助…片麻痺を想定した長座位・仰臥位での着脱
排泄介助…仰臥位でのおむつ交換
入浴介助…ベッドからストレッチャーへの移動、浴室内での体の洗い方、ベッド
上での足浴、ベッド上での背部清拭
食事介助…長座位・側臥位での全介助、長座位での飲水介助

☆実習(生徒の活動)

- ・コミュニケーション → ①多くの利用者と広く関わり、言語コミュニケーション(会話等)や非言語コミュニケーション(身振り、表情等)を通し、相手の感情をくみとる。
②多職種の職員と関わり、コミュニケーションを通じて、利用者や仕事内容等を理解する。

- ・利用者理解 → 多くの利用者に関わり（自己紹介、作業支援等）、利用者の抱えている病気や症状、生活環境、性格等を理解する。
利用者理解を深めることで、よりよい支援へと結びつける。
フェイスシートの作成 → ①対象者から直接情報収集を行う。
②観察による情報収集を行う。
③職員からの聞き取りによる情報収集を行う。
④記録から情報収集を行う。
- ・介護技術の見学 → 施設現場での実践はどのように行われているのか、職員の声かけはどのようなものなのか、介助が必要な利用者は実際どのような状況なのかという視点を踏まえて行う。
食事介助・・・食堂、居室（寝たきり等）において職員が行う場面の見学
着脱介助・・・居室や入浴の際の脱衣室において職員が行う場面の見学
排泄介助・・・居室やトイレにおいて職員が行う場面
入浴介助・・・浴室において職員が行う場面
移乗介助・・・居室においてベッドから車イスへ、車イスからベッドへ、イスからイスへの介助を職員が行う場面
- ・介護技術の実践 → 車イス介助・・・居室食堂間などの移動
ベッドメイキング・・・居室におけるシーツ交換
手引き歩行・・・居室食堂間などの移動
- ・実習記録 → 利用者へのアプローチの方法やそのときの相手の反応の記入
実習担当職員、その他の職員に対するアプローチ方法の記入
見学した介護技術の内容、実践した介護技術の内容の記入
実習内で考えたこと、感じたこと、印象に残ったこと等の記入
実習内での課題を見つけ、解決方法の記入
1日毎の実習目標の達成度の確認
翌日につなげられる内容の記入

☆巡回指導（養成校の活動）

- ・実習目標の達成状況の確認
- ・利用者に対するアプローチ状況の確認
- ・実習担当職員、その他の職員に対するアプローチ状況の確認
- ・実習記録の点検 → 1日ごとの目標が立てられているか。
実習内容が記入されているか。反省と課題が記入されているか

☆事後指導

- ・教科指導 → 社会福祉基礎・・・社会福祉分野（児童、高齢者、障害者等）における現状や課題（7単位）
介護福祉基礎・・・高齢者や障害者に関わる介護サービス、介護従事者の役割
介護総合演習・・・実習報告書の作成、礼状指導、ディスカッション
介護過程・・・フェイスシートを活用したケアプラン作成方法、事例問題
こころとからだの理解・・・高齢期に起こる疾患の特徴と症状

- ・実技指導 → 実習を終えての振り返りと3年生実習へ向けて
 (6時間) 体位変換・・・仰臥位から側臥位、側臥位から端座位、端座位から立位
 移乗介助・・・ベッド車イス間の移乗
 着脱介助・・・片麻痺を想定した長座位・仰臥位での着脱
 排泄介助・・・仰臥位でのおむつ交換
- ・発表、共有、交流 → 教室内での実習報告会、実習報告書、座談会、事例検討会

3年次

☆事前学習

- ・教科指導 → 社会福祉基礎・・・諸外国の社会保障制度、様々な福祉制度
 (9単位) 介護福祉基礎・・・高齢者や障害者のくらしの理解、介護サービス
 介護総合演習・・・介護技術の確認、実習に対する心構え
 介護過程・・・アセスメントシート作成の方法、ケアプラン作成のための目標設定
 の方法
 こころとからだの理解・・・認知症、食事・入浴のしくみ
 生活支援技術・・・介護技術に関する講義
- ・実技指導 → 体位変換・・・仰臥位から側臥位、端座位から立位
 (30時間) 移乗介助・・・ベッドから車イス、車イスからベッド
 着脱介助・・・片麻痺を想定した長座位・仰臥位での着脱
 排泄介助・・・仰臥位でのおむつ交換
 入浴介助・・・ベッドからストレッチャーへの移動、浴室内での体の洗い方、ベッ
 ド上での足浴、ベッド上での背部清拭
 食事介助・・・長座位・側臥位での全介助、長座位での引水介助

☆実習（生徒の活動）

- ・コミュニケーション → ①多くの利用者と広く関わり、言語コミュニケーション（会話等）や
 非言語コミュニケーション（身振り、表情等）を通し、相手の感情
 をくみとる。
 ②個々の利用者に対して、言語コミュニケーション（会話等）や非言
 語コミュニケーション（身振り、表情等）を活用し、意思の疎通を
 図る。
 ③多職種の職員と関わり、コミュニケーションを通じて、利用者や仕
 事内容等を理解する。
 ④介護職員と関わり、コミュニケーションを通じて、専門職としての
 視点や考え方を理解する。
- ・利用者理解 → 多くの利用者に関わり（自己紹介、作業支援等）、利用者の抱えている病気や
 症状、生活環境、性格等を理解する。
 利用者理解を深めることで、よりよい支援へと結びつける。
 フェイスシートの作成
 → 対象者を決め、2年次同様にフェイスシート作成を行う。
 ①対象者から直接情報収集を行う。

- ②観察による情報収集を行う。
- ③職員からの聞き取りによる情報収集を行う。
- ④記録から情報収集を行う。

アセスメントシートの作成

→情報収集（健康状態、心身機能、身体構造、背景因子）を行い、生活課題（現在の活動や参加の状況を含め）を把握する。

- ①対象者から直接情報収集を行う。
- ②観察による情報収集を行う。
- ③職員からの聞き取りによる情報収集を行う。
- ④記録から情報収集を行う。
- ⑤生活課題を明確にする。
- ⑥課題解決の優先順位を決定する。

残存機能の活用、生きがい、身体機能の保持、現在の活動や参加の状況等の観点を踏まえて行う。

- ⑦利用者の生活課題を把握し、今後の活動や社会参加・地域参加に向けた分析を行う。

・介護技術の実践 → 職員と一緒に基本的な介助を行うことができる。

食事介助・・・食堂、居室において職員と共に引水介助、食事介助、見守り、声かけを行う。

着脱介助・・・居室や入浴の際の脱衣室において職員と共に、立位の状態、仰臥位の状態で行う。

排泄介助・・・居室やトイレにおいて職員と共におむつ交換、パッド、尿器を使用して行う。

入浴介助・・・浴室内において職員と共に体を洗う、洗髪を行う。

移乗介助・・・居室においてベッド車イス間、車イス間への移乗介助を職員と共に行う。

車イス介助・・・居室から食堂などへの移動を行う。

ベッドメイキング・・・居室におけるシーツ交換を行う。

手引き歩行・・・居室食堂間などの移動

・実習記録 → 利用者へのアプローチの方法やそのときの相手の反応の記入
 実習担当職員、その他の職員に対するアプローチ方法の記入
 見学した介護技術の内容、実践した介護技術の内容の記入
 実習内で考えたこと、感じたこと、印象に残ったこと等の記入
 実習内での課題を見つけ、解決方法を記入
 1日ごとの実習目標の達成度の確認
 翌日につなげられる内容の記入

☆巡回指導（養成校の活動）

- ・実習目標の達成状況の確認
- ・利用者に対するアプローチ状況の確認
- ・実習担当職員、その他の職員に対するアプローチ状況の確認
- ・実習記録の点検 → 1日ごとの目標が立てられているか。

実習内容が記入されているか。

反省と課題が記入されているか。

☆事後指導

- ・教科指導 → 社会福祉基礎…高齢者や障害者に関わる福祉諸制度
(9単位) 介護福祉基礎…介護従事者の倫理、介護実践における連携
介護総合演習…実習報告書の作成、礼状指導、ディスカッション
介護過程…ケアプラン作成の方法
こころとからだの理解…排泄・睡眠のしくみ
生活支援技術…医療的ケア講義（喀痰吸引、経管栄養等）※4年生進級者のみ
- ・実技指導 → 体位変換…仰臥位から側臥位、端座位から立位
(10時間) 移乗介助…ベッドから車イス、車イスからベッド
着脱介助…片麻痺を想定した長座位・仰臥位での着脱
排泄介助…仰臥位でのおむつ交換
入浴介助…ベッドからストレッチャーへの移動、浴室内での体の洗い方、ベッ
ド上での足浴、ベッド上での背部清拭
食事介助…長座位・側臥位での全介助、長座位での飲水介助
- ・発表、共有、交流 → 実習報告、実習報告書作成、事例検討会